

平成22年度情報通信月間 情報通信月間推進協議会会長表彰

○ 志田林三郎賞

個人：1件

(敬称略)

氏 名	功績の概要
<small>もりかわ ひろゆき</small> 森川 博之 (45歳) 東京大学先端科学技術研究センター 教授	モバイルネットワーク技術に関する先進的な研究開発に取り組むとともに、新たな無線通信技術の導入に尽力するなど、電波利用の推進に多大な貢献をした。

○ 情報通信功績賞

個人：3件

(敬称略：五十音順)

氏 名	功績の概要
<small>きくま のぶよし</small> 菊間 信良 (50歳) 名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授	次世代電波監視システムの構築に関する調査研究会委員、電波監視技術調査研究会委員長及び宇宙電波監視施設の基本設計調査会委員長として、電波監視施設の高度化・高機能化の検討に寄与し、我が国の良好な電波利用環境の維持に多大な貢献をした。
<small>さかもとせつお</small> 坂本世津夫 (54歳) 高知大学国際・地域連携センター 教授	四国情報通信懇談会の運営委員長、地域情報化アドバイザー及び四国ブロードバンド整備推進連絡会高知県部会長として、地域情報化の推進や地域再生の支援に尽力するなど、情報通信の普及・啓発に多大な貢献をした。
<small>ひらの すずむ</small> 平野 晋 (48歳) 中央大学総合政策学部 教授	通信ネットワークのIP化に伴い、複数の事業者が多様な設備を組み合わせる時代にあつて、不具合発生時などにおける事業者間の責任分担の在り方の明確化に向けて、関係者との調整を図り、合意の取りまとめに尽力するなど、情報通信の利活用環境の改善に多大な貢献をした。

団体：1件

(敬称略)

団体名	功績の概要
社団法人 電気通信事業者協会 安全・信頼性協議会 ケータイ・ワ ーキンググループ (リーダー：福島 <small>ふくしま ひろのり</small> 弘典)	各事業者が個別に提供している、地震・台風などの非常災害時に家族などの安否確認が可能となる携帯電話・PHSの災害用伝言板サービスにおいて、各事業者を跨る検索を可能とする全社一括検索サービスを実現することにより、国民の安全・安心に資するなど、情報通信の発展に多大な貢献をした。

平成22年度「情報通信月間」総務大臣表彰

1 個人：5件

(敬称略：五十音順)

氏名	功績の概要
<p>おかもとゆき 岡 素之 (66歳)</p> <p>住友商事株式会社 代表取締役会長</p>	<p>グローバル時代におけるICT政策の在り方に関するタスクフォース・国際競争力強化検討部会の座長代理をはじめ日印ICT成長戦略委員会などの構成員として我が国の情報通信産業の振興策の具体化に尽力するなど、情報通信の普及・発展に多大な貢献をした。</p>
<p>たきひさお 滝 久雄 (70歳)</p> <p>株式会社NKB 代表取締役社長 株式会社ぐるなび 代表取締役会長</p>	<p>情報通信審議会委員及びICT国際競争力懇談会などの構成員を歴任するほか、飲食店情報を扱うポータルサイトとしては先駆的な存在である「ぐるなび」を開発して、新しい形のビジネスを構築するなど情報通信技術の利活用の推進に多大な貢献をした。</p>
<p>とうかいみきお 東海 幹夫 (65歳)</p> <p>青山学院大学 経営学部 教授</p>	<p>多年にわたり、情報通信審議会委員及び同会電気通信事業政策部会長などを歴任するほか、電気通信事業における会計制度の在り方に関する研究会などの座長として、次世代ネットワークへの移行期において、接続ルールをはじめ数多くの情報通信政策に関する調査審議及び提言の取りまとめに寄与し、情報通信の一層の発展に多大な貢献をした。</p>
<p>なかむらまさたか 中村 正孝 (72歳)</p> <p>一般社団法人 日本ケーブルラボ 専務理事</p>	<p>社団法人日本ケーブルテレビ連盟ケーブルラボ所長を務め、ケーブルテレビのデジタル化のための仕様の策定など、サービスの高度化に尽力し、ケーブルテレビ業界全体の発展に多大な貢献をした。</p>
<p>はせべやすお 長谷部 恭男 (53歳)</p> <p>東京大学大学院 法学政治学研究科 教授</p>	<p>多年にわたり、情報通信分野の研究会などの構成員を歴任するほか、通信・放送の総合的な法体系に関する検討委員会の主査として、通信・放送の新たな法体系の実現を図るための放送法などの改正の指針となる答申の取りまとめに尽力するなど、情報通信の発展に多大な貢献をした。</p>

2 団体：4件

(敬称略：五十音順)

団体名	功績の概要
株式会社 アパマンショップホールディングス (代表取締役社長：天村 浩次)	不動産情報サイト上で、地上デジタル放送対応物件を推奨するキャンペーンを実施し、同物件を検索可能とするなど周知広報活動に積極的に取り組み、集合住宅における地上デジタル放送対応の促進及び入居者・管理者双方の意識改革に多大な貢献をした。
北山村 (村長：奥田 貢)	インターネットを活用して地域産品「じゃばら」(柑橘類)の販売を開始し、売上を大きく拡大しており、また、村の応援会員を募るツールとして、ブログポータルサイト「村プロ」を開設し、人口を大きく上回る会員を集めるなど、地域の活性化とともに、情報通信技術の利活用の推進に多大な貢献をした。
IPv4アドレス枯渇対応 タスクフォース (代表：江崎 浩)	社会経済基盤となっているインターネットの利用に大きな支障が生じる可能性のあるIPv4アドレス枯渇の問題に対処するため、IPv6対応のためのアクションプランの策定や関係者への周知活動などにより、インターネットの発展に多大な貢献をした。
特定非営利活動法人 NPO小麦の家 (理事長：片岡 洋子)	障がい者の自立支援・雇用対策のモデルケースとして、障がい者団体のNPO法人として全国で初めて特定信書便事業に参入し、障がい者の社会参加を広げ、障がい者の所得向上につながる画期的なものとなるなど、障がい者施設の活動の場を広げることに尽力し、信書便事業の積極的な推進に多大な貢献をした。

「みんなでつくる情報通信白書コンテスト2010」

総務大臣表彰

1 表紙絵：6件

(テーマ：やさしさをつなぐICT)

(敬称略：五十音順)

部門	受賞者名
最優秀賞 (表紙絵)	米村 菟香 (小学1年)
優秀賞 (裏表紙)	河之口 みな (中学1年)
佳作 (中表紙)	ギャベイ イラン (小学5年)
	佐藤 綾乃 (高校2年生)
	高木 政史
	山下 夔 (中学1年)

2 コラム：6件

(テーマ：小・中学生の部：「あったらいいな ICTでこんな未来」)

一般の部：「あってよかった ICTがくれた大切なもの」

(敬称略：五十音順)

部門	受賞者名
優秀賞 (小・中学生の部)	岡部 美優 (小学4年)
	齋藤 杏優 (小学4年)
優秀賞 (一般の部)	家城 武尚 (看護師)
	池上 正子
	岩上 幸代 (地方公務員)
	中塚 計佐男 (会社員)

※ 学年等は応募当時のもの